

公益社団法人 日本地下水学会
2020年度 事業計画書

日本地下水学会は、2010年8月5日に公益社団法人として以来、定款第3条「地下水に関する研究、技術開発及び普及に関する事業を通じて、地下水資源の保全と有効利用、地下水に関わる諸問題の解決に貢献し、社会の発展に寄与することを目的とする。」に基づき、広く社会の公益に資するための事業を展開すべく活動を行っている。2020年度の事業計画を以下に記す。

本学会における事業は以下のように分類されている。

- 公益事業-1 [公1]：地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業
- 公益事業-2 [公2]：地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業
- 公益事業-3 [公3]：地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業
- 公益事業-4 [公4]：地下水に関する相談事業
- その他 [他1]：表彰事業
- 共通事業 [共通]：共通事業

それぞれの項目毎に事業計画を記す。

[公1] 地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業

1. 学会誌編集

- ① 会誌第62巻第2号、第3号、第4号、第63巻1号（総ページ数400程度）を発刊する。
- ② 第62巻第1号から開始した60周年記念特集および地下水ガバナンスに関する特集、降雨浸透過程モデリングに関する特集、トンネルと地下水に関する特集を掲載する。また、第61巻第4号から開始した1件の誌面講座掲載を継続していく。あわせて、企画委員会や行事委員会と共同するとともに、新たに特集号および誌面講座を企画し、誌面の充実に努める。
- ③ Web投稿・審査システムの円滑な運用に努め、論文の迅速な審査・印刷を進める。

2. 定期講演会の開催

【主催イベント】

- ① (公社)日本地下水学会春季講演会
日時：2020年5月30日(土)
場所：東京農工大学 府中キャンパス
- ② (公社)日本地下水学会秋季講演会
日時：2020年11月5日(木)～7日(土)
場所：沖縄県那覇市 沖縄産業支援センター

3. 出版事業

60周年記念事業として下記について編集、出版する。

「みんなが知りたいシリーズ 地下水・湧水の疑問(仮)」の出版。

[公2] 地下水に関する講演会、シンポジウム、見学会等を開催する事業

1. 講習会の開催

- ① 現場調査(水文調査)講習会
日時：2020年6月頃 2日間(予定)
場所：都内
- ② 地下水シミュレーション講習会
日時：2020年7～8月頃 2日間(予定)
場所：都内
- ③ 第2回地下水担当職員交流会
日時：2020年7～8月頃(予定)
場所：都内

2. シンポジウム、セミナーの開催

- ① 地下水（水循環等）に関するシンポジウム（専門家向けを予定）
日時：2020年秋頃
場所：都内
- ② 地下水に関するセミナー（一般向けを予定）
日時：2021年冬頃
場所：都内

3. 見学会の開催

湧水見学会

- 日時：2020年10月頃
場所：東京都昭島市（予定）湧水見学会

4. 地下水に関する出前講演

HP上に設置した地下水に関する出前講演受付窓口より、地下水に関する出前講演を受け付け、必要に応じて実施する。

[公3] 地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業

1. 研究グループ活動

- ① 「学会誌・地域データベース」の充実をはかり、各地域の調査・研究グループの活動について検討する。また、「地下水に関する専門家データベース」については、「地域データベース」の著者を中心にリンクさせていく。
- ② 「地下水ガバナンス等に関する調査・研究グループ」の活動については、新たな計画とメンバーのもと、活動を開始する。
- ③ 「水循環における地下水の科学に関する調査・研究グループ」の活動については、理事会および地域データベースと連携し継続する。
- ④ 「地下水流動解析コード検証事例作成のための調査・研究グループ」の活動については、テーマを新規に設定しメンバーを更新し、地下水流動解析の事例を蓄積するとともに講習会開催に向けた活動を行う。
- ⑤ 「降雨浸透過程モデリングに関する研究委員会」の活動を継続するとともに、学会誌において成果を特集号として発表する。
- ⑥ 新たな研究グループを公募し、活動を支援する。

2. 助成事業

地下水研究に携わる若手研究者が独創的な着想に基づいて主体的に行う研究を奨励、地下水分野のさらなる活性化のため、研究助成金の交付を行う。

3. その他

地下水学会として継続的に取り組むべきテーマ・課題等の抽出および調査・研究委員会の活動について議論し、実施可能なものから順次、推進する。

[公4] 地下水に関する相談事業

HP「市民コミュニケーション委員会」上で「地下水ブックガイド」を掲載する等の情報発信、質問の受付と回答を行う。

[他1] 表彰関連

- ① 学会表彰規則に則り、若手優秀講演賞を決定する。
- ② 学会表彰規則に則り、名誉会員候補者を決定する。

[共通]

1. 会議等

- ① 2020年度定時代議員総会を2020年5月中旬に開催する。
- ② 理事会を隔月および代議員総会開催月に開催する。
- ③ 各常設委員会の会議を開催する。

2. 国内関連団体交流

- ① 外部機関との協力体制のあり方の検討・企画を行う。
- ② IAH-JAPANの事務局を当学会内におき、その事務業務の一部を行う。
- ③ 地球惑星科学連合の各種委員会へ委員を派遣する。
- ④ 地球惑星科学連合大会において、セッション提案を行う。
- ⑤ 「地下水学の夢ロードマップ」の作成を継続する。
- ⑥ HRL誌運営委員会に委員を派遣する。
- ⑦ HRL誌の編集委員会に編集幹事、編集委員を派遣する。
- ⑧ HRL誌の分担金を拠出する。
- ⑨ NGWAとの協定を継続する。
- ⑩ 地下水学会定期講演会におけるガバナンスセッション開催に向けて関係団体と協議を開始する。

3. 学会情報普及に関する活動

- ① 学会員を含む広く一般の方々を対象に、ホームページを通じて学会活動の最新情報の発信に努める。
- ② 学会員を対象としたメールニュースによる情報発信を強化する。
- ③ インターネットを通じた学会運営の強化を図る。
- ④ 英文ホームページの運用拡大を行うと共にキッズページ等を作成し普及活動の拡大を図る。
- ⑤ ソーシャル・ネットワーキング・サービスを利用した学会情報発信の運用を継続する。

4. 会計関係

- ① 公益目的事業毎の会計体系内で、収支相償、公益目的事業比率50%以上の確保、遊休財産額の保有制限等の認定条件を維持するよう運営・管理する。
- ② 会員数の維持・増加を図るとともに、未納会費の徴収、経費の節減に取り組む。

5. 若手支援・男女共同参画に関する活動

- ① さらなる若手活動および男女共同参画の支援策について、年間を通じ具体案を議論する。
- ② 「2020年度 若手地下水研究助成」事業のための募集および選考活動を実施する。
- ③ 「若手交流会」「若手セミナー」など若手支援の行事を、春季講演会・秋季講演会時に開催する。なお、企画・運営は若手会が主体的に行う。
- ④ 若手支援・男女共同参画(YEPS)委員会のホームページの充実を図る。
- ⑤ 春季・秋季講演会の会期中における子供の保育を必要とする学会員への補助を継続実施する。

6. 技術継続教育に関する活動

- ① ジオ・スクーリングネット、JABEE等への参加、活動を行う。
- ② ジオ・スクーリングネットのシステムを通じて、会員のCPD登録に対応する。

7. その他

公益法人としての円滑な学会運営を図るため、引き続き総務及び事務局機能の維持および強化を図る。

以上

公益社団法人 日本地下水学会 2020年度収支予算書

事業名	公益目的事業等会計						公益目的外事業会計		法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公共	合計	その他1	合計		
	雑誌発行, 定期講演会 開催	講習会, シ ンポジウ ム, 見学会	技術開発, 研究	相談事業			表彰			
事業収益（収入）										
会費収入	0	0	0	0	3,117,500	3,117,500	0	0	3,117,500	6,235,000
参加費収入	1,795,000	2,000,000	0	0	0	3,795,000	0	0	0	3,795,000
広告費収入	485,000	0	0	0	0	485,000	0	0	0	485,000
販売費収入	1,935,000	100,000	0	0	0	2,035,000	0	0	0	2,035,000
受取寄付金	500,000	0	500,000	0	150,000	1,150,000	0	0	150,000	1,300,000
受託費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	90,000	0	0	0	0	90,000	0	0	0	90,000
合計	4,805,000	2,100,000	500,000	0	3,267,500	10,672,500	0	0	3,267,500	13,940,000
事業費（支出）										
給料	540,000	324,000	216,000	108,000	108,000	1,296,000	108,000	108,000	756,000	2,160,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	20,000
臨時雇賃金	140,000	100,000	0	0	0	240,000	0	0	20,000	260,000
会議費	950,000	253,000	10,000	7,000	0	1,220,000	0	0	190,000	1,410,000
旅費交通費	912,250	778,350	258,900	159,450	79,450	2,188,400	119,450	119,450	556,150	2,864,000
通信運搬費	330,000	15,000	0	0	0	345,000	0	0	310,000	655,000
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	0	5,000	0	0	0	5,000	0	0	0	5,000
消耗品費	15,000	0	0	0	0	15,000	0	0	30,000	45,000
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	2,850,000	850,000	0	0	0	3,700,000	5,000	5,000	80,000	3,785,000
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	16,750	10,050	6,700	3,350	3,350	40,200	3,350	3,350	23,450	67,000
賃借料	783,750	350,250	133,500	66,750	66,750	1,401,000	66,750	66,750	467,250	1,935,000
保険料	10,000	4,000	0	0	0	14,000	0	0	14,000	28,000
諸謝金	0	390,000	0	0	0	390,000	0	0	50,000	440,000
租税公課	0	10,233	0	0	0	10,233	0	0	0	10,233
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	311,000	311,000
支払助成金	0	0	500,000	0	0	500,000	0	0	0	500,000
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	686,000	0	0	0	0	686,000	0	0	112,000	798,000
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	6,500	2,000	0	0	0	8,500	0	0	16,000	24,500
雑費	0	5,000	0	0	0	5,000	0	0	17,267	22,267
合計	7,240,250	3,096,883	1,125,100	344,550	257,550	12,064,333	302,550	302,550	2,973,117	15,340,000
収支	-2,435,250	-996,883	-625,100	-344,550	3,009,950	-1,391,833	-302,550	-302,550	294,383	-1,400,000